



雪谷の清流

岩手県立軽米高等学校
学校通信60号
令和3年3月19日発行

令和2年度 卒業式 3月1日(月) 43名の旅立ち

軽米高校 PTA 会長中里将幸様のご臨席を賜り、本校第71回卒業式が挙行されました。感染症拡大防止のため、例年ご臨席いただいていた来賓の皆様には出席をご遠慮いただき、保護者の参加人数制限や在校生も送辞の1名のみにするなど縮小した内容とさせていただきます。山本賢一軽米町長様からのお祝いのメッセージを賜るなど、お陰様をもちまして、多くの皆様からのご支援ご協力のもと、卒業生や保護者にとって思い出に残る卒業式を挙行することができました。深く感謝申し上げます。



【金濱校長式辞より】 幸福を求めていくための心掛けを話したい。一つ目は、「これからも、学び続けて欲しい」ということ。いろいろなことにチャレンジし、新しい意識や価値を見つけ、自分の可能性を拓き、自信や自己有用感をもってほしい。二つ目は、「どんな困難にもへこたれないで欲しい」ということ。親元を離れて暮らし始めるとストレスや困難に遭うことがある。人は困難を乗り越えるたび強くなれる。ピンチの時こそ踏ん張って欲しい。乗り越えた先には一つ強くなれた自分と次の幸福を見つけるための新たな価値観が得られるはず。三つ目は、「周りの人に感謝と敬意を持って欲しい」ということ。幸福でありたいならば周りの人たちとの関係性を良好に築くことが大切。感謝の気持ちを持ち、敬意ある態度や言葉遣いで接すると相手も同様の態度で応じてくれる。学び続けることで自分の人生を豊かに変え、困難を乗り越えることで自分を強くし、相手を大切に思いそれを言葉で伝えることで自分の周りの人間関係が潤う。幸福を求めていくための三つの心掛けを憶えてほしい。



1組代表 石屋 碧花

【在校生代表送辞より 生徒会長 圃田咲弥】 私たちが入学した時、先輩方は、生徒会活動や委員会、部活動で活躍していました。丁寧に仕事内容や部活動でのポイント、行事などでは背中を進み方を示してくださり、多くの場面でお世話になりました。新型コロナウイルスにより高校生活は、ほぼすべての面で活動制限がかけられましたが、先輩方はこの環境下で可能なことを見出し、少しでも中止となる行事を減らそうとしました。冷静に状況を把握し、良い方向へと導いていこうとする姿は、私たちに希望を与えても印象深いものでした。困難へと立ち向かい、臨機応変に力強く進んできた先輩方は、この先の未来でぶつかる壁も必ず乗り越えることができると思います。皆さんのさらなる活躍を祈念します。



2組代表 稲森 颯

活動制限がかけられましたが、先輩方はこの環境下で可能なことを見出し、少しでも中止となる行事を減らそうとしました。冷静に状況を把握し、良い方向へと導いていこうとする姿は、私たちに希望を与えても印象深いものでした。困難へと立ち向かい、臨機応変に力強く進んできた先輩方は、この先の未来でぶつかる壁も必ず乗り越えることができると思います。皆さんのさらなる活躍を祈念します。

【卒業生答辞より 前生徒会長 松橋駿人】

振り返ってみるとあっといふ間の三年間だった。70周年の節目で学校生活に期待と不安を抱き入学した1年次。入学したての我々に容赦なく襲いかかる応援歌練習では声が出なくなるまで叫んだ。2学年では、協力して作った文化祭のおぼけ屋敷が大盛況で、学年全員で団結することの大切さを身をもって学んだ。そのような中でのコロナ。学習合宿、オープンキャンパス、高校総体など様々なイベントが中止で本当に悔しい思いをした。ただ、我々はその悔しさをバネに就職、進学に向けて本気で頑張ってきた。変化の激しい中、先生方、家族、在校生の支えのおかげで今日の日を迎えることができた。軽米高校で得た多くの思い出、学び、誇りを人生の糧とし、力強く前進していくことを誓う。



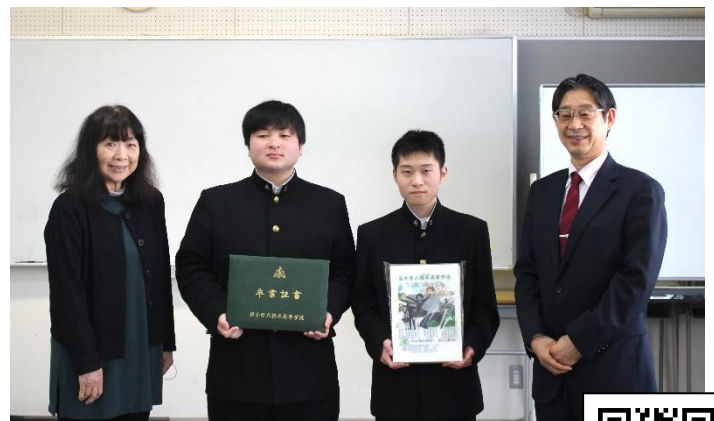
【PTA 会長祝辞より 中里 将幸様】

卒業生の皆さん「皆さんは逞しい」「私たちの誇り」です。歴史的転換期にある現在のコロナ期から、新しい時代を共に作っていく皆さんに次の言葉を紹介します。「危機は大きなチャンス」

これは、トヨタ自動車の経営の考え方にあります。また、京都大学名誉教授永田和宏氏の「知の体力」の一文に「想定外を自分の力で越えていくことが生きること」とあります。これから起こることは、すべて想定外で学んだ知識を現実の対応にするために、ものの見方の多様性をもつことと学び続けることが大切です。これからは、自ら学び、自ら経験することが大きな成長へ繋がります。「自ら学び続けることを」を大切に、新しい時代を切り開いてください。

同窓会入会式 2月26日(金)

松浦満雄同窓会長と千葉千賀副会長が来校され、同窓会入会式が行われました。卒業のお祝いメッセージや卒業後の活躍、同窓会活動への理解や母校への支援について祝福と激励、期待のお話がありました。また、同窓会より卒業証書ホルダーとクリアファイルが贈呈され、第71回卒業生の学年理事を務める2名が代表して受け取りました。



写真(右から)松浦会長、一條慶太、松浦駿、千葉副会長

「雪谷の清流」は右のQRコードにより
学校ホームページからも閲覧できます⇒

